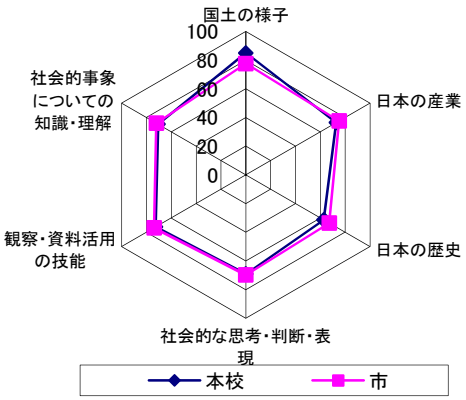
宇都宮市立上河内東小学校 第６学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	85.0	77.6	77.6
	日本の産業	72.8	75.1	67.5
	日本の歴史	62.7	67.2	62.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	69.1	69.7	64.7
	観察・資料活用の技能	72.7	73.8	68.5
	社会的事象についての知識・理解	70.6	72.0	67.7

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	・平均正答率は，市の平均を7．4ポイント上回った。日本周辺の海洋名，国旗，国土の位置，台風のグラフの把握，地域の暮らしの工夫について，どの設問でも正答率が高かった。	・今後も国土の地形や気候などについて関心をもたせ，日常生活の中でも機会をとらえて指導を継続していく。
日本の産業	・平均正答率は，市の平均を2．3ポイント下回った。日本の工業の移り変わりについての資料選択，野菜の産地表示や栽培方法についての判断に関する設問の正答率が低かった。	・日本の食料生産や工業生産について，資料の見方や判断の仕方を指導していく。自分とのかかわりについても考えられるような機会を設けていく。
日本の歴史	・平均正答率は，市の平均を4．5ポイント下回った。元寇の理解，源平の戦いの時期，鎖国中の貿易，明治時代に活躍した人物の業績などについての設問の正答率が低かった。	・歴史の大きな流れについては概ね理解しているが，細かい部分の内容理解や判断が不十分である。社会情勢や人々の様子や思いを重ねて理解しやすいように指導していく。